made by Japanese

上海レポート

ちょっとちがうぜ中国で農業

土下信人（つちした・のぶひと）

1949年愛知県生まれ。95年、沖縄で㈲土下を設立。組織培養技術を活用した苗生産・販売を中心とした農業のコンサルタント業務を開始。上海で組織培養施設への指導を行ない、2003年同地で組織培養会社、上海百奥微繁植物有限公司を設立。HP『大きな国で』を開設。
http://blog.livedoor.jp/touxia/

第59回　“衰退途上国”の空気の中で

アカルイミライ?

元気のある中国から日本に電話をすると、〝衰退途上国〟のどんよりと湿った空気がやってくる。「空気を読め」と言われて育った日本人の前には、「我慢しなさい」「ムダを省け」「もったいない」という言葉たちが並ぶ。そこには〝アカルイミライ〟がなく、最近のアンケートによると「結婚をしなくてよい。子供は要らない」という若者が増えているという。

日本が衰退し、老人が多い国となっていく中で、若者たちは否応なく老人たちの世話をして暮らしていかなくてはいけない。さらに、働いて納付した国民年金や厚生年金は、老人になった時には給付されないだろうと、現実を覚悟せざるを得ない。年金制度は若者たちからの体のいい搾取にほかならない。ここまで乱脈な運営を続けてきた社会保険庁のトップたちは、中国なら、さしずめ死刑である。

本稿執筆時点での2010年度の予算を見ても50兆円を割る収入に、90兆円の歳出。ムダをどんなに省いても超赤字の経済で、国の借金は600兆円を超える。借金で膨らませた、見せかけだけの経済大国第2位だ。

ほんとのムダを省けよ!

日本が経済大国だという幻想は、米軍基地への思いやり予算や沖縄での新しい軍事基地の建設、中国へのODAなど多額の支出を招いた。ほんとのムダを削ると、米国の信頼や中国への威信がなくなるという。なんて日本はアホなのか。そんなことより、もっと日本を良くしてほしい。

政権交代した党もどこか腰砕けで日本の空気を読んでいる。新しい政権になり何かが変わったのか?「ムダを省け」としか言わない。それなら、国会議員の数を減らせよ。政党補助金を無くせよ。なんで税金を使って政治活動をするんだ。まず自分たちのムダを省くべきだろう。

農家の戸別所得補償制度?やめておけ。農民をバカにするだけだ。民主党は農民の票が欲しいだけで、選挙のためだけにあるのならムダな制度だ。ほんとのムダを省けよ。

バブルの時に日本人がやることといえば、狂乱して高級マンションや高級スポーツカーを手に入れ、株を買っては米国の土地を買いまくり、お立ち台で踊ることだった。みんなが空気を読んではしゃいでいた。

いまの日本という衰退途上国からは、〝欲しがりません　勝つまでは〟なんて標語が染み出てきている。おいおい、戦時中かよ。なんと従順でアカルイミライもなく、雰囲気に呑まれて、息を潜めて生きていることか。そこには、どんよりした空気を読んでいる日本人がいる。地球温暖化に機敏に対応し、エコが正しい、環境にやさしい日本をつくるといっている。考えてみれば何もしないのがエコなんだ。ムダを省いて、乾いたぞうきんを絞っていなさい。そうすれば、ノーベル平和賞は「日本人」だ。中国から見ているとそんな日本が見える。



雲南を訪れる中国人旅行客のお目当てはゴルフ。1回のプレー代に1300元（約1万7,000円）もかかるが、予約で満員。